

2009年11月4日

**スターツグループが手掛けた“篠崎ツインプレイス”を含む
「篠崎駅西部地区連鎖型土地区画整理事業」が
平成21年度土地活用モデル大賞で『国土交通大臣賞』を受賞
土地活用の模範的「成功モデル」として表彰されました。**

篠崎駅前エリアの土地区画整理事業を手掛けたスターツコーポレーション(株)、スターツアメニティー(株)、大成建設(株)、大成サービス(株)、(株)石本建築事務所、サイカパーキング(株)、サミット(株)＜順不動＞の7社が出資・設立したSPC「篠崎駅西口公益複合施設(株)」(代表取締役 浅野賢一)と、篠崎駅前エリアの土地区画整理事業を含む「篠崎駅西部地区連鎖型土地区画整備事業」を手掛けた江戸川区(江戸川区長:多田 正見)及び日本測地設計株式会社(代表取締役社長 松崎 由美子)が、財団法人都市みらい推進機構が主催する「平成21年度土地活用モデル大賞」において、15の応募事業の中から土地活用の模範的「成功モデル」として選定され、2009年10月26日(月)に『国土交通大臣賞』を受賞いたしました。



「土地活用モデル大賞」・・・(財)都市みらい推進機構が、昨今の少子・高齢化や産業構造の変化等により生じる地域コミュニティの低下、環境・景観の悪化、災害・犯罪発生の誘発といった課題を踏まえ、土地の有効活用や適切な維持管理に取り組んだ事業を募集。審査委員会において「プロジェクトの具体化に当たっての工夫」及び「プロジェクトによる周辺地区活性化や社会的な貢献」について、審査基準(土地活用についての課題対応性、先導性、独創性、汎用性)を基に審査し、模範的な成功モデルとなる事業を表彰するものです。

『国土交通大臣賞』

篠崎駅西部地区連鎖型土地区画整理事業

本プロジェクトは、東京都江戸川区の都営地下鉄新宿線篠崎駅の西口周辺において、連鎖型土地区画整理事業を活用し、街区の特性に応じた整備・土地の有効活用を図ったものです。

本事業の特徴は、大街区のままスプロール開発が進んだ駅前市街地において、各街区の特性や課題が異なる状況に対して、街区単位での解決策を地権者とともに見出して土地の速やかな活用に結び付けたことにあります。駅前の街区では、立地条件と公的用地活用に着目し、民間企業によりSPCを事業主体とする公益複合施設建設整備を行っています。第2の街区では行き止まり私道の解消に限定した整備を行い、第3の街区では零細な戸建て住宅地権者をコーポラティブハウジング手法を用いて集合住宅に集め、跡地を行き止まり私道の解消に充当しています。

本プロジェクトは、土地区画整備事業という一つの整備手法をプラットフォームとしつつ、整備後の市街地像は街区やエリアの特性に応じた実現可能性(=円滑な合意形成)の高いものを描き、この出口に向けて街区単位で実践的な具体化手法を組み立てているものです。こうした取り組みは、合意形成が最大の課題となっている既成市街地等における市街地整備において多くの示唆を与えるプロジェクトです。



「篠崎駅西部地区連鎖型土地区画整理事業」において、スタートグループが手掛けた篠崎駅西口公益複合施設プロジェクト航空写真「篠崎ツインプレイス」(左:20番街区、右:21番街区)

<本リリースに関するお問い合わせ先>
スタートコーポレーション株式会社 広報:工藤 明子
E-mail: akiko.kudo@starts.co.jp
TEL:03・6202・0380(直) FAX:03・6202・0333

スタートグループは、建設・不動産・管理事業を中心とし、金融・資産コンサルティング事業、出版事業、ホテル事業、高齢者支援・保育事業など、さまざまな商品・サービスを事業展開しております。